



和歌山県 紀州 広川銘菓

稲むら最中



広川町・箕島高校生徒考案

和歌山県 広川町の 新銘菓誕生!

吉備・湯浅PA内の物産販売施設を運営する有田観光物産センター株式会社が、地域の特産品を新たに作り出そうと、箕島高校に商品開発を提案しました。そこで、箕島高校生が広川町の逸話「稲むらの火」をモチーフに、有田地方及び広川町の特産物を取り入れた「稲むら最中」を考案、広川町が支援し、商品化に至ったものです。今後は、広川町の新たな名物として多くの人に親しまれることを願っています。

(1箱6個入り)
1,000円 (税込)
(1個売り)
170円 (税込)

「稲むら最中」とは…?

あんの味は、「塩」と「みかん」の2種類です。塩あんは、西広海岸の海水からできた天然塩「稲むらの塩」を使用し、優しい塩味があんの甘味を引き立てています。みかんあんは、有田地方の特産有田みかんを使用し、みかんの爽やかな風味にみかんピールがアクセントになっています。最中の表面には、逸話「稲むらの火」の象徴である稲むらのイラストが描かれています。

パッケージにも注目!

箕島高校生が描いたかわいらしい濱口梧陵を使用し、箱全体が絵本のように楽しめる、こだわりが詰まったパッケージに仕上がりました! 親しみのあるイラストで「稲むらの火」の物語が楽しめます。

アンケートにご協力ください

より良い商品づくりのためにご協力をお願いします。スマートフォン又はタブレットでQRコードを読み取り、アンケートページにアクセスしてご回答ください。

